

## 自分らしく

2月になりました。2月3日は節分、2月4日が立春です。節分とは季節を分けるという意味があります。季節を分ける日は1年に4回あり、春夏秋冬それぞれの季節に始まりの日が決められており、春の始まりを立春といいます。古来より季節の変わり目には邪気（鬼や魔物）が生じると考えられ、その邪気を追い払い無病息災を願うために豆まきが始まったといわれています。特に冬から春になる立春は1年の境目と考えられ、新年を迎えることと同じぐらい大切な日とされ、現在でも立春の前日だけが節分として残っています。暦の上では春になりますが、まだまだ厳しい寒が続いています。新型コロナウイルスによる感染だけでなく、インフルエンザの流行も心配されています。今後もマスク着用、手洗いや手指消毒、健康観察の記録等健康維持に御協力いただきますようお願いいたします。



さて、今年に入り、学習ルームの座席がほとんど埋まるほど、多くの児童・生徒がつばさ教室に登室するようになりました。一人ひとりを見ると、それぞれの不登校の原因は様々で、不登校になった理由を指導員や相談員に話すことができる児童・生徒もいますが、なかなか話せない人もいます。中には不登校になった原因を自分でも分からない場合もあるかもしれません。ただ、全員に共通していることは、ほかの人は学校に行き勉強しているのに、自分は勉強がどんどん遅れてしまっている不安を抱えていることです。学校に行かずにつばさ教室で生活することを自分で理解するには、自身の価値観を変える柔軟性が必要です。だからこそ、一人ひとりの状況に合わせた支援や指導員とのかかわりをとおして、つばさ教室での学びを積み重ねていってほしいと思っています。

今、中学3年生は進学を希望する高校に提出する自己PRカードや志願申告書をはじめ、作文練習や面接練習で自分自身を振り返り、それを前向きにとらえて新しい世界に向けて歩き出そうとしています。そこには、自分が好きなことや楽しいと思えること、充実した生活を送るためにできることをするという自分らしさがあります。自分ができること得意なことを見つけ一生懸命努力している姿があります。2月21日（火）には都立高等学校の学力検査があります。中学3年生以外の児童・生徒は中学3年生の進学に向けて取り組む姿勢をぜひ目に焼き付け、数年後に自分がその立場になったとき、自分を振り返り、自分らしさを見つけ、少しずつでも自分なりに努力するというチャレンジをしてほしいと思います。

## 新国立美術館へ行ってきました

1月24日（火）国立新美術館で休館日に開催された「かようびじゅつかん・DOMANI・明日展」に中学1・2年生の参加希望者と見学に行ってきました。今回は文化庁が支援する新進芸術家海外研修制度で海外研修を終えた若手芸術家の成果発表をする作品展でした。当日は、二人の作家から、作品についての説明をいただくとともに、質問に直接答えていただいたことで、作品をより深く味わうことができました。映像を使用した作品や実際に触って味わう作品などの新しい試みが随所にあり、参加した生徒たちは見学時間が足りなくなるほど、作品展を楽しみました。



# 芝消防署に見学に行きました

1月19日(木)防災とボランティアの日の取組として、芝消防署を訪問しました。ポンプ車、はしご車、屈折放水塔車、指揮隊車など消防車両の中や、消防署内の事務室や食堂、仮眠室などを見学したり、消防士から説明を受けたりしました。また、消防隊の方による1分間以内の消防服着衣実演をしていただくほか、子どもたちからの質問にも答えていただきました。さらに、心臓マッサージとAEDの方法を教わりました。消防署員の方々が市民の命と生活を守るために日ごろから鍛え、強い思いをもって仕事をされていることを学ぶことができました。今回の経験を通して、救命や火災対策について自ら行動ができるようになってほしいと思います。



参加した児童・生徒の感想の抜粋を掲載します。

- ・普段は見られない消防車の内部を見たり消防士の話を聞けたりして勉強になりました。そして、応急手当の胸骨圧迫やAEDのやり方をわかりやすく教えてもらったのでよかったです。今日は消防のことや命の大切さを改めて知ることができたので、自分の周りで何かあったとき、勇気をもって救命できるようにしたいです。
- ・芝消防署で実際に消防署の方のお話を聞き、普段生活していてなかなか気づけないことなどを知ることができて勉強になりました。いろいろな火災現場に対応するための装備などを見せてもらい、困っている人たちのために日々の訓練など見えないところでも努力されているところを知ることができて、貴重な体験ができました。自分で火災対策や応急手当などを勉強してみようと思います。
- ・消防士といったら「火を消す」というイメージがあったのですが、事務の方もいると知って驚きました。また、男性職員の方が女性より多いと思っていましたが、実は半々ぐらいだと知って意外だなと思いました。
- ・私が一番心に残ったのは心臓マッサージです。最初はできると思っていました。でも、やってみると難しく、すぐ手の位置が違ふところにもずれてしまいました。実際に人を助けるときはもっと難しいのだろうなと感じました。消防士さんの体力もすごいと改めて思いました。
- ・消防署に行って思ったことは消防士は忙しいということです。消防士の森さんの話を聞いているときに、たくさんサイレンが鳴り、出動していました。また、1日中働いていることもあるということを知り、改めて消防士の方は大変だなと思いました。
- ・驚いたことは、アナウンスが入ってから出動するまでの時間です。とても早く、着替えから出動までに1分というのは、すごいと思いました。次に驚いたことは心臓マッサージです。思ったよりも硬くて大変でしたが、体重を乗せると疲れずにできました。
- ・消防署では何台もの消防署や救急車などがあり、近くで見るととても大きくて結構驚きました。消防署内には、更衣室や寝室、食堂などがありました。

## ==== 2月の予定 ====

- |               |   |
|---------------|---|
| <b>保護者講演会</b> | 2月 1日(水)「子どもとのコミュニケーション」というテーマで、保護者向け講演会を行います。この日は原則として児童・生徒は12時40分に退室です。             |
| <b>体育活動</b>   | 2月 2日(木)、 7日(火)、 9日(木)、 14日(火)、 16日(木)、<br>21日(火)、 28日(火)<br>※中学生は定期考査のため活動しない日があります。 |
| <b>外国語活動</b>  | 2月 1日(水)、 8日(水)、 15日(水)、 22日(水)   |
| <b>読み聞かせ会</b> | 2月22日(水) 学校図書館支援アドバイザーの先生による読み聞かせを行います。   |